

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

ありがとうございました 25年度寄附金 310 件 1,134,599 円



賛助会員をはじめ
大勢の方々のご協力
に感謝いたします。

特定寄附金指定事
業の「わくわく・生活
体験キャンプ」「野島

クリスマスキャンプ」「ハートフルスペース連携事業」
に活用したほか、ユースレターNo.6でご報告のとおり、
青少年交流センターに陶芸用電気窯1基と野島青少年
研修センターにカヌー20艇を購入しました。仕事帰りの陶芸教室や、学校の体験学習プログラムにカヌー
を取り入れるなど事業に役立てています。

【寄附項目別内訳】

ユース賛助会費	195 件	827,000円
特定寄附金	合計 91 件	138,000円
わくわく・生活体験キャンプ	27 件	41,000円
野島クリスマスキャンプ	23 件	52,000円
ハートフルスペース連携事業	31 件	45,000円
一般寄附金	24 件	169,599円

総合評価 b 75 ポイント ← 24年度 b 70 ポイント

各課・施設は、事業に新しい視点を取り込んでいる。

- ◆他部門との連携事業や法人全体に関わる事業・取組みは、より一層努力してほしい。
- ◆他課所管業務に关心を持ち、仕切り枠を一步ずつ踏み出そう！

『法人の経営強化はお互いの踏み出す1歩から』

横浜市青少年育成センター
b 75 ポイント ← 24年度 b 72 ポイント

整理された体系に基づき、青少年育成者
人材養成研修を実施した。

横浜市青少年交流センター
b 73 ポイント ← 24年度 c 68 ポイント

3階の活用で事業に幅が生まれた。学習マイブ
ランが近隣学校・相談機関に認知されている。

横浜市野島青少年研修センター
b 79 ポイント ← 24年度 c 67 ポイント

施設立地を活かし、自然体験プログラムを開発・提供している。

より多くの情報を
よりわかりやすく
より見やすく
<http://yokohama-youth.jp/>
よこはまユースのホームページが
パワーアップ中

よこはまユースのホームページから青少年育成センターと野島青少年研修センターの主なトピックをご紹介します。

○ 横浜市青少年育成センター

中高校生でも活動できるボランティア情報を月2回更新。よこはまユースでの活動に加え、他施設の情報も掲載しています。また「ボランティアって？」のコーナーには、活動前の“不安”を“安心”へ変えてくれる情報が満載です。

○ 横浜市野島青少年研修センター

夏休み期間中の土曜日はおかげさまで満室に。しかし！平日はご利用可能日もまだあります！期間中の空室情報をご確認ください。野外活動の様子がわかる動画やいかだ作り体験など楽しいプログラムのご案内も。

夏休みにボランティアをするのって、どうかな？

i 大潮の日が魅力！
干潟で生き物観察や
潮干狩りを
楽しめます！

i 曰曜日宿泊なら
ハマ島シーパラダイスの
花火が見られるかも…

放課後キッズクラブ

夏を先取り?! 「流しそうめん」

すすき野小放課後キッズクラブ

(5月19・30日)



小学校近くの荏子田太陽公園の竹を、「荏子田おやじの会」さんがキッズに届けてくださいました。ボランティアの佐々木さんに教えていただきながら、丸1日かけて、その竹を鉈とトンカチで半分に割りノミで節をとった後、最後にやすりかけ。そうめんを上手につかめる子もいれば、中々つかめない子も…。みんな楽しそう！

横浜市青少年交流センター

毎年恒例！子どもの日まつり

(5月5日・来場者326人)

今年は、地域や交流センター利用団体の皆さまのご協力でバラエティーに富んだお祭りになりました。

利用団体「劇団風雲かぼちゃの馬車」は演技指導の後子どもたちが新聞紙で作った刀を振ると、その演技に合わせて迫力ある効果音と劇団員のアクションで、サムライ気分を盛り上げてくれました。



安心・安全のまちづくり拠点 Kogane-X Lab.（コガネックスラボ／西区黄金町）の横浜市立大学の学生が新聞紙を細かくちぎって作った『新聞紙プール』で大はしゃぎしたり、J:COM（ジェイコム）いきいきプロジェクト『大きなシャボン玉をとばそう！』、「青少年指導者クラブ」による『カーネーションづくり』、交流センター開館当初からの利用団体「みのり会」による『お茶会』など楽しい催しが目白押し。ボランティアとして参加した、近隣の中学生もイベントを盛り上げ、大盛況でした。



交流センター広報紙『君に★ふらっと！』発行！

編集・発行は、第11期（平成25年度）青少年委員が担当。青少年委員会の活動報告の他、日頃からセンターを利用している皆さんのインタビューなど情報満載。交流センターで配布しています。

*青少年委員会：青少年の声をセンターの運営や事業の企画に活かすことでの“青少年の居場所”を盛り上げる中学生から24歳までの青少年ボランティアです。



親子でうどんづくり

岡村小放課後キッズクラブ

(5月31日)

キッズクラブのみんなは“食べる”ことが大好き！



うどんのモチモチした食感は小麦粉をこねる作業で変わります。手を粉だらけにしながら、がんばって生地をこね、少し寝かせた後、麺棒でのばしていきます。一番難しかったのは、生地をうどんの太さに切る作業。「太さがばらばらー！」なんて言いながらも、やっぱり親子で作ったうどんの味は格別でした。

交流センター利用者の声

「わかば卓球クラブ」 山本さん、児玉さん、村上さん

健康増進と親睦を兼ねて、毎週月曜日に、青少年交流センターで卓球の腕を磨いていらっしゃる「わかば卓球クラブ」



の皆さんは卓球歴25年以上のベテラン揃い。

今年も3月24日に実施した卓球大会（青少年13人参加）では審判として活躍してくださいました。「今日は今までで一番盛り上がったよね」と皆さん、笑顔で話してくれました。



今大会前の1か月間、週に2日、レクリエーションホールのフリータイム（13時30分～17時30分）に卓球指導をしてくださいました。

「この取り組みも良かったよね」「大人が入ることで、普段は接点の少ない高校生と小学生が、一緒に卓球をする姿を見ることができたし…」「友だち同士だと相手がこちらを見ていないのにサーブを出すなんてこともあったけど、僕たちがいることで、ルールやマナーなんかを教えられるしね」。ご自身のお孫さんに接するように、時には優しく、時には厳しく、積極的に青少年と向き合ってくださっています。小学生の頃、交流センターに遊びに来て卓球の楽しさを知り、今は卓球部に所属している中学生もいるとか。

一緒に卓球をやりたい方は、初心者でも安心…、経験（実力？）に応じて、アドバイスしてくださいます。毎月第1木曜日（今年9月以降は曜日変更の可能性あり）、レクリエーションホールへ。

*詳しいことは交流センターへおたずねください。